

# 水稲育苗用被覆資材の効果確認試験

JA新篠津村

篠原 信雄



設置後の状況



被覆内温度状況(29.5℃)

## 試験目的

水稲育苗用被覆資材の効果確認

## 試験作物及び品種

水稲

## 試験資材及び数量(規格)

ハイホワイトシルバー(0.05mm×270cm×100m)

## 慣行資材

本州太陽シート(2.7m×50m) 2本

## 栽培方法

播種日  
4月23日

定植日  
5月26日～28日

【栽植密度】  
畝幅：100cm  
株間：40cm

## 資材使用期間

4月23日～26日

## 試験区面積

270㎡

## 試験結果

### (1)作業性について(慣行品との比較)

慣行品と比較して強度が高いため、資材設置・片づけ時の作業性が良い。

### (2)作物の生育状況または、収穫への影響

慣行区・試験区ともに苗焼け症状は観察されず、生育に差はなかった。

### (3)栽培管理上の優位点あるいは問題点について

【優位点】：栽培管理上の効果は慣行品と同等(強度面で慣行品より優る)

### (4)資材の強度・耐久性・崩壊性について

平成29年度、本州太陽シートの試験を実施したが、片付け・資材設置時に両端にテンションをかけると破れが生じた。ハイホワイトシルバーは太陽シートと比較して、耐久性が高い。

### (5)保温効果について

保温効果については、太陽シートの方が優れているとの印象だが、極端な温度上昇がない限りハイホワイトシルバーでも温度管理は必要ないと感じた。

## モニター感想

ハイホワイトシルバーは保温効果が高く育苗時の温度管理作業の省力化が期待でき、太陽シートで不満を感じた強度面もクリアしているので今後も継続して使用していきたい。保温効果面だけを言うと、太陽シートの方が効果は高いと思うが極端な温度上昇が無い限りハイホワイトシルバーでも十分対応できる。

## JA担当者の感想(農産部生産資材課 小松田課長)

育苗箱内の温度上昇を抑制できるため、苗のヤケ症状緩和に対して有効な資材である。今回試験した組合員からの評価も高く、近隣農家へも紹介したいとの評価をいただいております。今後大きく普及する資材であると考えます。

## 今後の使用について

継続して使用したい。

## 将来希望する資材について

太陽シートについて、両端をテープで補強する等、耐久性を改善して欲しい。

1 栽培モニター

2 栽培モニター

3 栽培モニター

4 マルチ

5 不織布

6 育苗資材

7 防虫ネット

8 防虫資材

9 ICT機器

10 その他